様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	滋賀短期大学
設置者名	学校法人純美禮学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間･通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
	生活学科	夜 ・ 通信		16	100	116	7	
	幼児教育保育学科	夜 ・ 通信			89	105	7	
	ﾋﾞｼﾞﾈｽｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	夜 ・ 通信			114	130	7	

（備考）
添付資料１:学科別「実務経験のある教員等による授業科目一覧表及び学科の７単位分シラバス」

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学ホームページのシラバス講義一覧のトップページにおいて、実務経験「あり・なし」を選択することができる。そこで「あり」を選択すると、実務経験のある教員の授業一覧表が公開される。
https://www.esyllabus.jp/view/

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名

（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※　国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	滋賀短期大学
設置者名	学校法人純美禮学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

純美禮学園のホームページ(https://www.sumire.ac.jp/)の情報公開＞財務情報＞法人概要に掲載 https://www.sumire.ac.jp/pdf/zaimu/2019_zaimu.pdf

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
中澤道盛(非常勤)	現職：㈱ナカザワ 代表取締役	H30.4.1　～ R4.3.31	総務担当 産業界からの視点
辻　雅代(常勤)	前職：県立守山中学校・ 高校校長 現職：附属高校副校長	R2.4.1　～ R6.3.31	高校副校長 公立学校からの視点
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	滋賀短期大学
設置者名	学校法人純美禮学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 教員は、ディプロマポリシー並びにカリキュラムポリシーに基づき、学習成果に対応した授業計画を立てている。また、資格免許の養成課程に該当する科目は、その認定に沿った授業内容を提供している。 シラバスはWebにより一般に公表している。シラバスには、①講義番号、②授業科目、③担当教員、④年次、⑤開講期、⑥単位、⑦形態、⑧卒業必修・選択、⑨授業科目英文名、⑩授業の到達目標、⑪授業の内容、⑫教科書、⑬参考書、⑭担当者からのメッセージ、⑮課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法、⑯成績評価の方法及び基準、⑰オフィスアワー、⑱担当教員E-mail、⑲教員相互授業参観、⑳「授業計画」、㉑定期試験を明示している。シラバスの作成に当たっては手引書を配布するとともにFD学内研究会で確認している。また、編集、校正は教務委員が行い、各授業科目の担当教員が作成した原稿を第三者が確認して不備をなくし、全体としての統一化を図っている。Web入力は、前年度の12月から開始し、3月中旬に公表している。	
授業計画書の公表方法	https://www.esyllabus.jp/view/
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

成績評価は、「学則」及び「試験及び成績に関する内規」に従って厳密に行っている。シラバスに記載された成績評価の方法及び基準のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の授与又は履修の認定を行っている。

成績は学期ごとに試験等によって評価し、100 点満点に対して 60 点以上を合格とし、その評価は、「秀・優・良・可・不可」で表している。成績評価基準は、秀（90 点以上 100 点まで）、優（80 点以上 89 点まで）、良（70 点以上 79 点まで）、可（60 点以上 69 点まで）、不可（59 点以下０点まで）である。病気またはやむを得ない正当な事由のために定期試験が受けられなかった場合は、追試験を受けることができる。また、定期試験において不合格となった科目においては、科目担当教員が認めた場合には再試験が受けられる。不正行為に対しては厳罰処分を定めている。なお、成績評価において、学生は「不可」の評価に対する異議の申し立てができるよう、定めている。また、定期試験の実施にあたっては、試験監督者の打ち合わせ時間を設け、試験をより厳密に実施できる体制を整えている。

また、履修科目が多くなることで各科目の学習効果が弱まることを防ぐため、2 年間でバランスの取れた履修となるよう、修得単位の上限を半期 30 単位までと定めている。ただし、前学期までの累積 GPA が 3.0 以上の場合は上限を 32 単位としている。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

教育課程における学習到達度を客観的に評価することにより、大学教育の質を保証するとともに、きめ細やかな履修指導、学習支援等に資することを目的として、GPA 制度に関する要綱を定めている。

GPA の算出方法は以下のとおり

$$\text{学期 GPA}=\frac{\text{（当該学期の履修科目の GP×当該科目の単位数）の総和}}{\text{当該学期の履修科目の総単位数}}$$

$$\text{累積 GPA}=\frac{\text{（全学期の履修科目の GP×当該科目の単位数）の総和}}{\text{全学期の履修科目の総単位数}}$$

学期 GPA 及び累積 GPA は、毎学期の成績発表日に学生に成績通知書で通知している。やむを得ない事情がないにもかかわらず、学期 GPA が前学期 1.0 未満の学生には、学科長が厳重注意を行っている。

また、「客観的な指標に基づく成績の分布を示す資料」(GPA 下位 4 分の１を示す) として、学科ごとの累積 GPA を Web 上で公開している。

客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.sumire.ac.jp/tandai/guide/gpa/

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

大学のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)が定められ、各学科はそれに対応するディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)を定め、Web 上で公表している。

【大学】

本学では、卒業時点において、以下の観点から、各学科・コースの目的に沿った専門的な知識と、それを有効にいかすための技能、さらにそれらの基礎になる人間力をもっていることを求めます。

【専門知識と教養】

各学科・コースが掲げる専門的知識だけではなく、それを支える広い視野をもつために、幅広い教養が身についていること。

【専門性をいかす技能】

専門知識を理解したうえで、それを使いこなせる技能と、それを応用する実践能力が身についていること。

【問題提起・解決能力】

知識と技能を習得したうえで、専門分野にかかわる課題の所在やその分析の方法を総合的に考え、適切に判断して問題の解決にみちびく能力が身についていること。

【表現力・コミュニケーション力】

問題提起から分析を経て解決に至る過程と、その成果を効果的にアピールするための表現能力が身についていること。また豊かな人間性をもって人と人との円滑なコミュニケーションを実現する力が身についていること。

【生活学科】

本学科を卒業するためには、次のような資質や能力をもつことを求めます。

【専門知識と教養】

豊かな生活を実現するために必要な基礎的専門知識もち、その上で生活全般にわたる広い視野にもとづいて考える能力。

【専門性をいかす技能】

最新の情報技術を理解し、それを生活分野に応用できる専門的技能と実践技術を修得し、生活の向上に積極的な提案ができる能力。

【問題提起・解決能力】

日常の生活全般を科学的・実践的に探求し、多様な現代社会を生活という観点から総合的にとらえ、その解決に向けて独創性のある提案ができる能力。

【表現力・コミュニケーション能力】

専門知識と実践的技能をいかして、自ら考えたことを適切な方法でプレゼンテーションする能力と、地域の伝統的な生活文化に対して敬意をはらい、専門家として地域社会において有効な役 割を果たすことができるコミュニケーション能力。

【幼児教育保育学科】

本学科を卒業するためには、次のような資質や能力をもつことを求めます。

【専門知識と教養】

子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。

【専門性をいかす技能】

保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。

【問題提起・解決能力】

子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相

<table>
<tr><td colspan="2">
　　談援助ができる能力。
　【表現力・コミュニケーション能力】
　　保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。
【ビジネスコミュニケーション学科】
　本学科を卒業するためには、次のような資質や能力をもつことを求めます。
　【専門知識と教養】
　　ビジネスコミュニケーション学科が設置しているビジネス実務コース、医療事務コース、観光・ホテル・ブライダ ルコース、スポーツ健康コースの専門にかかわる科目を修得するとともに、幅広い視点から社会を理解する能力。
　【専門性をいかす技能】
　　ビジネスの現場で必要な情報技術や実務的な技能を応用して、実際の課題に対応できる能力。
　【問題提起・解決能力】
　　問題点を発見し、状況を判断し考察したうえで、適切な対応ができる能力。
　【表現力・コミュニケーション力】
　　客観的な状況や自らの考えを適切に伝えるためのプレゼンテーション能力と、現場で責任感をもって行動し、相手を思いやる気持ちをもって協働できるコミュニケーション能力。
</td></tr>
<tr><td>卒業の認定に関する方針の公表方法</td><td>https://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2020/06/release_6-01.pdf</td></tr>
</table>

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	滋賀短期大学
設置者名	学校法人純美禮学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.sumire.ac.jp/pdf/zaimu/2019_zaimu.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.sumire.ac.jp/pdf/zaimu/2019_zaimu.pdf
財産目録	https://www.sumire.ac.jp/pdf/zaimu/2019_zaimu.pdf
事業報告書	https://www.sumire.ac.jp/pdf/zaimu/2019_zaimu.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.sumire.ac.jp/pdf/zaimu/2019_zaimu.pdf

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：	対象年度：　　　　）
公表方法：	
中長期計画（名称：	対象年度：　　　　）
公表方法：	

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：https://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2020/06/release_11-01.pdf

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：https://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2016/03/48e6d94718670a020285279b7d8d2b3b.pdf

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　生活学科
教育研究上の目的（公表方法： https://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2020/06/release_1-03.pdf）
（概要） 生活学科は、食生活に関する専門の知識と技術を授け、科学的な視点から食生活を捉える姿勢を養い、家庭及び社会でより良い食生活を提案できる能力をもった人材の育成を目的とする。 （滋賀短期大学学則第 5 条第 2 項第 1 号）
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2020/06/release_6-01.pdf）
（概要） 【生活学科のディプロマ・ポリシー】 生活学科を卒業するためには、次のような資質や能力をもつことを求めます。 【専門知識と教養】 豊かな生活を実現するために必要な基礎的専門知識をもち、その上で生活全般にわたる広い視野にもとづいて考える能力。 【専門性をいかす技能】 最新の情報技術を理解し、それを生活分野に応用できる専門的技能と実践技術を修得し、生活の向上に積極的な提案ができる能力。 【問題提起・解決能力】 日常の生活全般を科学的・実践的に探求し、多様な現代社会を生活という観点から総合的にとらえ、その解決に向けて独創性のある提案ができる能力。 【表現力・コミュニケーション能力】 専門知識と実践的技能をいかして、自ら考えたことを適切な方法でプレゼンテーションする能力と、地域の伝統的な生活文化に対して敬意をはらい、専門家として地域社会において有効な役割を果たすことができるコミュニケーション能力。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2020/06/release_5-01.pdf）
（概要） 【生活学科のカリキュラム・ポリシー】 生活学科では、ディプロマ・ポリシーを実現するために、次のような特色あるカリキュラムを配置しています。 【学科全体の特色】 ・社会生活と健康、食品と安全、栄養と健康、食文化、デザインに関する専門科目を配置しています。 ・実験実習を通して高い技術を身につけるために、豊富な実験実習科目を設置しています。 【各コースの特色】 ・食建康コースでは、卒業と同時に栄養士免許に加え栄養教諭免許も取得できます。地域との連携が充実しており、栄養士としての実践力が身につくカリキュラムを編成しています。 ・製菓・製パンコースでは、在学中に製菓衛生師を取得できます。菓子やパンだけでなく、食品一般の製造現場において活躍できる実践力が身につくカリキュラムを編成しています。

・ライフデザインコースでは、暮らしに関わる多様な資格を取得できます。暮らしをテーマに衣、食、住の各分野の科目を選択し、快適で豊かな暮らしを提供できる専門家を目指したカリキュラムを編成しています。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2020/06/release_4-01.pdf）
（概要） 【生活学科のアドミッション・ポリシー】 生活学科では、次のような資質や能力をもつ入学生を求めます。 【求める学生像】 ・生活学はあらゆる科目にまたがる総合的な学問なので、いろいろな分野に興味をもち探求心をもっている人。 ・健康で豊かな生活を目指して自ら楽しく実践し、自分らしく工夫する喜びや楽しみをもてる人。 ・地域社会で積極的に活動し、地域に貢献する意欲をもっている人。 ・食建康コースでは、栄養士免許を取得し、食を通じて健康づくりに貢献したい人。 ・栄養教諭免許を取得して教育現場で食育に携わりたい人。 ・製菓・製パンコースではお菓子やパン作りを将来の仕事として考えている人。 ・ライフデザインコースでは、衣食住について総合的に学び、豊かな暮らし作りに貢献して、暮らしの専門家になろうという人。

学部等名　幼児教育保育学科
教育研究上の目的（公表方法：https://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2020/06/release_1-03.pdf）
（概要） 幼児教育保育学科は、幼児教育保育に関する専門の知識と技術を授け、時代や社会の要請に応え得る幼稚園教諭や保育士等の人材の育成を目的とする。 （滋賀短期大学学則第 5 条第 2 項第 2 号）
卒業の認定に関する方針（公表方法：https://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2020/06/release_6-01.pdf）
（概要） 【幼児教育保育学科のディプロマ・ポリシー】 幼児教育保育学科を卒業するためには、次のような知識や能力、資質を身につけていることを求めます。 【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニ ケーション能力。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：https://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2020/06/release_5-01.pdf）
（概要） 【幼児教育保育学科のカリキュラム・ポリシー】 幼児教育保育学科では、ディプロマ・ポリシーを実現するために、次のような特色あるカリキュラムを配置しています。 【学科全体の特色】 ・乳幼児期から青年期にあたる子どもたちの理解に必要な、基礎的な知識を理解するための科目を設置しています。 ・幼児教育や保育に関する知識をさらに深く理解するために必要な、専門科目を体系的に配置しています。 ・幼児教育や保育の現場で必要な実践的技能を修得するために、演習、実習科目を設置しています。 ・保育士資格及び幼稚園教諭二種免許取得のための科目を設置しています。 【コースなどの特色】 ・子どもの発達と心理コースでは、より幅広い年齢層の子どもの心理や多文化共生、特別支援などについて理解を深めるための科目が配置されています。 ・子どものあそびコースでは、子どものあそびについての理論的な理解と、実践力を高める科目が配置されています。 ・アドバンスプログラムでは、将来管理職を目指したり、4年制大学への編入や公務員試験合格を目指したりする科目が配置されています。 ・プログレッシブプログラムでは、保育者になるための基本的な知識、技能を確実に身につけるための科目が配置されています。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2020/06/release_4-01.pdf）
（概要） 【幼児教育保育学科のアドミッション・ポリシー】 幼児教育保育学科では、次のような資質や能力を持っている入学生を求めています。 【求める学生像】 ・子どもや、子どもを取り巻く伝統や遊び、文化について興味があり、理解したいと考えている人。 ・子どもの育ちを支える保育や教育、福祉に興味があり、理解したいと考えている人。 ・保育や教育、子どもの福祉に関わる仕事に就くことで地域に貢献したいと考えている人。 ・保育士資格や幼稚園教諭免許を取得したいと考えている人。 ・様々な背景を持つ人との関わりの中で、温かい心で他者を理解することに努めながら、冷静に自分の思いや考えを表現し、円滑なコミュニケーションを図る努力を怠らない人。

学部等名　ビジネスコミュニケーション学科
教育研究上の目的（公表方法：https://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2020/06/release_1-03.pdf）
（概要） ビジネスコミュニケーション学科は、ビジネスに関する専門の知識と技術を授け、社会で即戦力となるビジネス実務能力とホスピタリティマインドを持った人材の育成を目的とする。 （滋賀短期大学学則第5条第2項第3号）

卒業の認定に関する方針（公表方法：https://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2020/06/release_6-01.pdf）
（概要） 【ビジネスコミュニケーション学科のディプロマ・ポリシー】 ビジネスコミュニケーション学科を卒業するためには、次のような資質や能力をもつことを求めます。 【専門知識と教養】 ビジネスコミュニケーション学科が設置しているビジネス実務コース、医療事務コース、観光・ホテル・ブライダルコース、スポーツ健康コースの専門にかかわる科目を修得するとともに、幅広い視点から社会を理解する能力。 【専門性をいかす技能】 ビジネスの現場で必要な情報技術や実務的な技能を応用して、実際の課題に対応できる能力。 【問題提起・解決能力】 問題点を発見し、状況を判断し考察したうえで、適切な対応ができる能力。 【表現力・コミュニケーション力】 客観的な状況や自らの考えを適切に伝えるためのプレゼンテーション能力と、現場で責任感をもって行動し、相手を思いやる気持ちをもって協働できるコミュニケーション能力。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：https://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2020/06/release_5-01.pdf）
（概要） 【ビジネスコミュニケーション学科のカリキュラム・ポリシー】 ビジネスコミュニケーション学科では、ディプロマ・ポリシーを実現するために、次のような特色あるカリキュラムを編成しています。 【学科全体の特色】 ・社会における一般常識やビジネスマナーについて理解し実践するために、多様な科目を設置しています。 ・ビジネスの現場で必要とされるコンピュータ技術に関連する科目を豊富に設置しています。 ・ビジネス現場で必要とされる顧客や同僚とのコミュニケーションスキルを身につけるための科目を設置しています。 ・データを分析する能力を養うとともに、その結果を効果的にプレゼンテーションする技能を養成する科目を設置しています。 【各コースの特色】 ・ビジネス実務コースでは、ビジネスの現場で必要とされる知識を身につけ技能を養うための科目を設置し、実践力を身につけることを重視しています。 ・医療事務コースでは、医療秘書・医療事務に必要な知識を身につけ実務能力を養うための科目を設置し、実践力を強化することを重視しています。また、患者やその家族を思いやる心を養う科目を設置しています。 ・観光・ホテル・ブライダルコースでは、現場で必要なスキルと対人関係において重要なホスピタリティを養う科目を設置し、実践力を身につけることを重視しています。 ・スポーツ健康コースでは、スポーツの社会的意義、とくに健康づくりにおける役割を理解し、専門的な指導助言ができるようなスキルを養成する科目を設置し、実践力を養うことを重視しています。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2020/06/release_4-01.pdf）

（概要）
【ビジネスコミュニケーション学科のアドミッション・ポリシー】
ビジネスコミュニケーション学科では、次のような資質や能力をもつ入学生を求めています。
【求める学生像】
・ビジネス実務、医療事務・医療秘書、観光・ホテル・ブライダル、スポーツ健康分野に関心をもち、主体的に学ぶ意欲があり、その分野で将来仕事をしていきたいと考えている人
・コンピュータに興味があり、その技術を使っていろいろな分野で仕事をしてみたいと思っている人
・地域の課題に興味を持ち、その発展に貢献したいと思っている人
・多様化するビジネスの現場でどのような専門性を身につければよいか、また多様な選択肢のある場で自分の可能性を探ってみたいと考えている人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：
https://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2020/06/release_2-01.pdf

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
―	3人	―					3人
生活学科	―	5人	0人	1人	1人	4人	11人
幼児教育保育学科	―	4人	4人	2人	人	人	10人
ビジネスコミュニケーション学科		4人	2人	1人	人	人	7人
地域連携教育研究センター		人	1人	人	人	人	1人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
0人	88人	88人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：https:// www.sumire.ac.jp/tandai/guide/teacher/

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

本学では高等教育開発センター及び地域連携教育研究センターにおいて FD 研修会を計画し、全教員を対象に開催している。毎回、多数の教員が参加している。

2019 年度に開催した FD 研修会は以下のとおり。（　）内は教員の参加率。

- 7月　4日（木）学内研究会「授業づくりの工夫や向上に向けての取組みについて」（89%）
- 7月 18日（木）「科研費申請について」（94%）
- 9月　5日（木）午前「授業アンケートについて」（学外講師）（83%）
- 12月　5日（木）「シラバスの作成について」（83%）
- 3月 11日（水）「ICT を活用した教育内容の改善」（67%）

その他、「研究倫理 e ラーニング」を対象教員が受講した。また、授業評価アンケート等の各種調査を行い、FD 活動に活かしている。

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
生活学科	80人	62人	77.5%	160人	115人	71.9%	人	人
幼児教育保育学科	150人	123人	82.0%	300人	220人	73.3%	人	人
ビジネスコミュニケーション学科	100人	103人	103.0%	200人	211人	105.5%	人	人
合計	330人	288人	87.3%	660人	546人	82.7%	人	人
（備考）								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
生活学科	52人（100%）	1人（1.9%）	50人（96.2%）	1人（1.9%）

幼児教育保育学科	125 人 （100%）	1 人 （　0.8%）	114 人 （　91.2%）	10 人 （　　8.0%）
ビジネスコミュニケーション学科	97 人 （100%）	1 人 （　1.0%）	82 人 （　84.5%）	15 人 （　　15.5%）
合計	274 人 （100%）	3 人 （　1.1%）	246 人 （　89.8%）	26 人 （　　9.5%）

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）
https://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2020/06/release_4-05.pdf

（備考）

c.修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
生活学科	57人 (100%)	52人 (91.2%)	3人 (5.3%)	2人 (3.5%)	0人 (0%)
幼児教育保育学科	129人 (100%)	119人 (92.2%)	2人 (1.6%)	8人 (6.2%)	0人 (0%)
ビジネスコミュニケーション学科	107人 (100%)	95人 (88.8%)	1人 (0.9%)	11人 (10.3%)	0人 (0%)
合計	293人 (100%)	266人 (90.8%)	6人 (2.0%)	21人 (7.2%)	0人 (0%)

（備考）
中途退学者及び休学者の増加への対応のために、平成27年度に休学・退学届の様式を変更し、その理由等の分析を可能にした。その後は、休学・退学希望者の理由を早めに確認し、キャンパスライフ・サポートセンターを中心に対応している。その結果、経済的理由での退学者は減少している。心身の問題については早期に確認できるよう、教員、保健室、カウンセラー、及び学生支援コーディネーター等の連携によってサポート体制を整えている。期間内卒業者数の割合も改善されつつある。

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
すべての授業科目のシラバスはWebにより一般に公表している。
シラバスには、①講義番号、②授業科目、③担当教員、④年次、⑤開講期、⑥単位、⑦形態、⑧卒業必修・選択、⑨授業科目英文名、⑩授業の到達目標、⑪授業の内容、⑫教科書、⑬参考書、⑭担当者からのメッセージ、⑮課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法、⑯成績評価の方法及び基準、⑰オフィスアワー、⑱担当教員 E-mail、⑲教員相互授業参観、⑳「授業計画」、㉑定期試験を明示している。シラバスには上記の記載項目の見方も具体的に示している。シラバスの作成に当たっては手引書を配付するとともにFD学内研究会で確認している。また、編集、校正は教務委員が行い、各授業科目の担当教員が作成した原稿を第三者が確認して不備をなくし、全体としての統一化を図っている。Web入力は、前年度の12月から開始し、3月中旬に公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
【様式第２号の３より再掲】
シラバスに記載された成績評価の方法及び基準のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、単位の授与又は履修の認定を行っている。
成績評価においては、学則はじめ規定等に基づき厳格に評価している。各科目の成績評価の基準はシラバスに記載し、学生に周知している。成績は学期ごとに試験等によって評価し、100点満点に対して60点以上を合格とし、その評価は、「秀・優・良・可・不可」で表している。
成績評価基準は、秀（90点以上100点まで）、優（80点以上89点まで）、良（70点以上79点まで）、可（60点以上69点まで）、不可（59点以下０点まで）である。
共通科目12単位と各学科の専門科目50単位以上、合計62単位以上を取得した者について、教授会の議を経て卒業の判定を行っている。

学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
	生活学科	62 単位	㊒・無	30 単位
	幼児教育保育学科	62 単位	㊒・無	30 単位
	ビジネスコミュニケーション学科	62 単位	㊒・無	30 単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：公表方法：各学科別に累積 GPA をホームページで公開している。学期ごとの GPA で 1.0 未満の学生については、学科長とゼミ担当教員が面談の上、指導している。 累積 GPA が 3.0 以上の場合は、CAP の上限を 32 単位とし、履修の機会を広げている。 https://www.sumire.ac.jp/tandai/guide/gpa/		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法： https://www.sumire.ac.jp/tandai/wp-content/uploads/2020/06/release_4-05.pdf		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：https://www.sumire.ac.jp/tandai/guide/release/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
	生活学科	720,000円	200,000円	400,000円	
	幼児教育保育学科	720,000円	200,000円	336,000円	
	ビジネスコミュニケーション学科	720,000円	200,000円	300,000円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組

（概要）

入学してきた学生を、教学面と生活面からサポートし、卒業に向けての就職やキャリアアップへの取り組みをサポートする組織として、本学では令和元年10月に3つのサポートセンターを設置した。

学生の修学に係る支援に関するセンターとして、従来のラーニングコモンズの活動をさらに発展させ、幅広く学修支援を行うための「ラーニング・サポートセンター」を設置した。ラーニング・サポートセンターでは、専任教員と兼任教員が在室し、学生一人ひとりのニーズに合わせた学びを支援することに務めている。基礎教科、語学の予習・復習から、英検・TOEIC等資格試験対策まで幅広く支援している。また、留学生への日本語指導など、学生が学ぶ上でのあらゆる面をサポートしている。対面だけでなくWeb上での学修相談の受付も行っている。当センターは、自習、グループ学習、ミーティング等、何でも使用できる教室でもある。

また、就職支援としては、マイクロソフトオフィススペシャリスト：ワード・エクセル・パワーポイント、ITパスポート、コミュニケーション検定、SPI筆記対策講座を実施し資格取得支援に伴う支援講座を実施させ資格取得に向けての支援を展開している。

b.進路選択に係る支援に関する取組

（概要）

就職に関する支援、キャリアアップについての情報提供、インターンシップに関する支援を行う組織として、「キャリア・サポートセンター」を令和元年11月に発足した。センター設置に伴い、事務組織もキャリア支援課に改組した。従来からの1回生前期・2回生後期に学科毎のキャリア教育では自分自身のキャリア形成を考えるために必要な基礎知識を習得させている。また、社会人として基礎的な知識を身につけるカリキュラムを展開している。

1回生後期からは就職支援講座を実施し、生活学科・ビジネスコミュニケーション学科には、最終到達点として履歴書の完成を目指す講座を実施し、幼児教育保育学科の講座は、履歴書完成だけに留まらず、保育者として求められるピアノ技能力、文章作成力等総合的に指導を展開している。

入り口から出口までにとどまらず、卒業後もサポートできるような体制を整えているところである。

c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

（概要）

学生の生活上の問題についての支援（奨学金、学生相談、クラブ・サークル支援、留学生支援など）を行うセンターとして、「キャンパスライフ・サポートセンター」を新しく発足した。学生支援コーディネーターを配置し、より学生に寄り添う支援を行う。カウンセラー配置は、火・水曜日（10:00～16:00）、金曜日（11:00～17:00）保健室にて予約制で実施している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：https://www.sumire.ac.jp/tandai/guide/release/